

## 仕事をする大人とは

「密にならないように、整理整頓しようかあ。」  
朝の会中の二年A組の前を通ったときに、担任のY教諭の声が聞こえてきました。私は興味深く思っ  
て、二年A組の教室をのぞきました。  
「カバンの方向とか、肩掛けひもが出ていないかとか見てね。」

Y教諭はこう続けると、生徒たちは密を作らないように気遣いながらロッカーに歩み寄り、自分のロッカーの整理整頓に取り組んでいました。

さすがY教諭です。三年生を昨年度受け持ち、学級という空間で、世の中で通用する力を生徒たちにつけさせるためには何が必要かがわかっているのだと思います。「環境が人を作る 人が環境をつくる」という言葉がありますが、まさにそれだと言えるでしょう。

「(ロッカーの中で)教科書とかが、ぐにゅっとなっているでしょ。あれって(みんなは)気にならない?私は気になるんだけど。」

Y教諭のこの言葉に、私はさらに興味をもちました。大げさなようですが、これが教師の役割だと思います。自分の価値観を押しつけているのではありません。仕事をする大人とはこうあるべきだということを、この言葉が教えているように感じました。  
毎朝、私の前を一台のトラックが走っていきます。そのトラックの荷台には、仕事に必要なバケツ、スコップ、ロープなどの道具が掛けられるようになっています。決して新しいトラックではありませんが、いつ見ても、使う道具は同じ位置に整然と掛けられていることに感心しています。

恐らく、土砂などの資材を取り扱う仕事をしていらっしゃる方でしょう。仕事に必要な道具を大切にしてみえることが、整理整頓されたトラックからよくわかります。仕事って、こうやって取り組むものなのです。

生徒の皆さんは、勉強や学校生活に整頓して取り組んでいますか。  
(五月二十九日 記)